

◆◆◆◆◆ 平成28年第4回定例会賛否一覧 ◆◆◆◆◆

※これ以外の議案等は全員一致です。

議員名	櫻井一隆	後藤勲	熊谷善行	深見迪	黒沼俊幸	松下哲也	川村多美男	渡邊定之	鈴木裕美	平川昌昭	本多耕平	菊地誠道	館田賢治	結果
議案第67号 平成28年度標茶町一般会計補正予算	×	×	退	○	×	○	×	○	○	○	×	×		原案否決
意見書案第21号 地方財政の充実・強化を求める意見書	×	×	×	○	×	○	×	○	○	×	×	×		原案否決
意見書案第22号 義務教育費国庫負担制度堅持等、子どもの貧困解消など教育予算確保・拡充に向けた意見書	×	×	×	○	×	○	×	○	○	×	×	×		原案否決

○ 賛成 × 反対 退 退席 欠 欠席 (議長は、採決に加わりません。)

憩の家の不祥事は、本年九月に議長宛てに内部告発の文書が届き、その時点で知り、今日まで数度、町議会全員協議会で詳細を知りました。

7年前から施設責任者が他人名義で浴室や夜警、運転手などを着服、金額は1千万円を超えるとの町の説明がありました。

つい先日は300万円が不足で町から繰り入れがなければ資金ショートする、この度は3千万円を一般財源から繰り入れしたいとのことだが、一般企業では金融機関から不足分を借り入れ対処するのが常識と考えます。

この7年間の空白は私ども議会議員の一人として受

川村議員 (反対)

議案67号否決

議案67号  
『憩の家かや沼に対する3千万円の補正予算』  
は、起立少数で原案否決されました。  
(賛成5名、反対6名、退場1名)  
議案67号に対する反対、賛成の討論は次のとおりです。

憩の家の不祥事は、本年九月に議長宛てに内部告発の文書が届き、その時点で知り、今日まで数度、町議会全員協議会で詳細を知りました。

7年前から施設責任者が他人名義で浴室や夜警、運転手などを着服、金額は1千万円を超えるとの町の説明がありました。

つい先日は300万円が不足で町から繰り入れがなければ資金ショートする、この度は3千万円を一般財源から繰り入れしたいとのことだが、一般企業では金融機関から不足分を借り入れ対処するのが常識と考えます。

この7年間の空白は私ども議会議員の一人として受

鈴木議員 (賛成)

議案第67号に対し賛成の立場で討論いたします。

くしろ湿原パーク「憩の家かや沼」は町民の健全な保養とレクリエーションの場を提供するとともに地域

観光の振興に資するため、昭和53年10月町内唯一の温泉宿泊施設として設置されました。当時、大自然、湿原の中で町民の憩いの場として画期的なものでした。設置してから38年、この間社会環境の大きな変化で、町内にも温泉施設が多く増え、町民の「憩の家かや沼」の利用も減少傾向になってきたところでございます。

小高い丘の上に位置して、釧路湿原国立公園唯一の天然温泉として、さらに野生動物との共生、悠久の自然を感じる施設としてリピーターの人気も高く、旅行会社にも本町の宿泊施設を訪ねると「憩の家かや沼」と紹介されると言われております。

しかし、経営は厳しく何度もその危機を乗り越えてきています。そのことは、その時々々の議会の理解があったからこそと認識しております。

先日、全員協議会で職員不足などで収益が下がらずこのままでいくと休業せざるを得ない状況との説明がありました。また、今定例会の一般質問で取り上げら

れたこともあり、町民の「憩の家かや沼」に対する関心は高く、私のところにも「憩の家はどうなるの」、「休業はしないで営業は続けてほしい」と多くの町民の声が寄せられています。

**深見議員（賛成）**

私は、議案第67号「一般会計補正予算（第8号）」に賛成の討論を行います。「くしろ湿原パーク憩の家かや沼」は、いま様々な要因が重なって経営の危機に直面しています。このことについて議会は、多くの時間を割いて議論をしてきました。町長をはじめ、この運営に関わってきた町関係者への厳しい批判もありま

した。経営が行き詰まったことの原因の調査、打開策など多くの議員諸氏が独自の調査も行い、何とか「憩の家かや沼」を守るよう努力してきました。この間様々な意見交換も行いましたが、議長をはじめとして議会が常に一致確認してきたことは「憩の家かや沼」が町民の貴重な財産であること、なんとしても経営を守っていくこと、同時にそこで働く人たちの雇用も守ること、「憩の家かや沼」を愛してきてくださる町内のお客様、そして町外のお客様の期待を裏切らず、本町観光の目玉の一つとして大事にしていくことなどでした。

「憩の家かや沼」は、平成26年度12月の第四回定例会において、釧路観光開発公社（代表取締役・池田裕二）を指定管理者として指定することが提案され、議会はこれに同意しました。この経営形態の評価については同意した議会も責任の一端を握っていると思えますし、その意味では私も責任を感じているところで

今、経営の危機に直面し、予約も一部断らざるを得ない状況から一日も早く抜け出し、一日も休むことなく営業を続けることは、多くの町民、町内外からのお客様や従業員の願いでもあると思います。そのため本日提案された補正予算が、それが必ずしも最上の策であるとは限らないと思えますが、緊急避難的に計上されたこの12月、1月を乗り切り、経営の正常化に一步でも近づくことであることを確信し賛成いたします。

**櫻井議員（反対）**

私は、このいま提案された議案に対して反対するものであります。

泣きたいのは町民もここに立っている私も同じなんです。この憩の家かや沼をどう守ってどう立ち直らせていくかと、こういうことが真剣にこの場で議論されればもっともっと深いところまでいろんなものが出たところ思うんですが、経営母体が違う、議会はここま

でだといつそついつつような制約の中で、真実を町民に明らかにできることもせずこの法案を通すわけには、私は断固反対するものであります。

**松下議員（賛成）**

私は議案第67号に対して、賛成の立場で討論を行います。

標茶の貴重な財産である釧路湿原唯一の温泉施設の、また、標茶の観光の情報発信元でありますかや沼憩の家の灯を決して消してはならない、そう考えます。今までの経過につきましては多くの議員の討論の中で述べられておりますので重複いたしますので発言は致

しませんけれども、長年多くの町民に愛され憩いの場となってきました。敬老会シーズンには、町内の多くの町内会、また、福祉協議会地区部会の敬老会の会場と利用され、送迎付きで多くの敬老対象者が集まってきて楽しいひと時を過ごしてきております。また、各種学校等の同窓会もその会場となってきました。そういう人たちの会場とそういう場を決して私は奪ってはならない、そういうふうに思っております。

また、温泉を愛する町内外の多くのリピーターもおります。そういう人たちの期待も決して裏切ってはならない。隣接するキャンプ場と合わせて道内外から多くの観光客も訪れる場所として、その核となる施設でもあります。一度休業状態に陥ってしまうとその信用を回復するというのは非常に困難な状態になるということが予想されます。

一日も早い正常な営業活動を再開する、そういうことを強く求めて、私はこの議案に賛成の意思を表明して討論を終わります。